

1 決算総括表

(単位:百万円)

区分 事業名	収益的収支			資本的収支		
	収入 (A)	支出 (B)	差引 (A)-(B)	収入 (C)	支出 (D)	差引 (C)-(D)
電気事業	(6,836) 6,715	(5,416) 5,453	(1,420) 1,262	(2,442) 2,412	(2,673) 3,750	(△ 231) △ 1,338
工業用水道事業	(2,143) 2,592	(1,872) 4,270	(271) △ 1,678	(73) 186	(1,207) 1,332	(△ 1,134) △ 1,146
水道事業	(7,179) 6,969	(5,173) 4,690	(2,006) 2,279	(3,071) 287	(3,208) 3,833	(△ 137) △ 3,546
団地造成事業	(3,149) 7,243	(2,663) 5,936	(486) 1,307	(315) 97	(3,744) 2,466	(△ 3,429) △ 2,369
駐車場事業	(130) 155	(130) 155	(0) 0	(114) 113	(138) 138	(△ 24) △ 25
施設管理事業	(906) 876	(700) 601	(206) 275	(0) 0	(441) 224	(△ 441) △ 224
合計	(20,343) 24,550	(15,954) 21,105	(4,389) 3,445	(6,015) 3,095	(11,411) 11,743	(△ 5,396) △ 8,648

(注) 1 本表以下、金額はいずれも消費税抜きの金額です。

2 本表以下、()内は前年度決算額です。

2 損益の概要

(1) 総括表

(単位：百万円)

事業名		電気事業	工業用水道事業	水道事業	団地造成事業	駐車場事業	施設管理事業	合計
区分								
28年度 (A)	主たる収益(注)	6,519	1,665	6,298	7,190	103	852	22,627
	経常損益	1,259	327	2,215	1,307	△ 4	275	5,379
	特別損益	3	△ 2,005	64	0	4	0	△ 1,934
	純損益	1,262	△ 1,678	2,279	1,307	0	275	3,445
27年度 (B)	主たる収益(注)	6,658	1,677	6,309	3,077	81	883	18,685
	経常損益	1,410	183	1,809	462	△ 1	206	4,069
	特別損益	10	88	197	24	1	0	320
	純損益	1,420	271	2,006	486	0	206	4,389
増減 (A)－(B)	主たる収益(注)	△ 139	△ 12	△ 11	4,113	22	△ 31	3,942
	経常損益	△ 151	144	406	845	△ 3	69	1,310
	特別損益	△ 7	△ 2,093	△ 133	△ 24	3	0	△ 2,254
	純損益	△ 158	△ 1,949	273	821	0	69	△ 944

(注) 「主たる収益」は次のとおりです。

○電気事業：販売電力料

○工業用水道事業：給水収益

○水道事業：給水収益

○団地造成事業：産業団地等の分譲収益

○駐車場事業：駐車利用料金

○施設管理事業：格納庫及び賃貸ビルの賃貸収益、ゴルフ場の使用収益

(2) 事業別損益の状況

① 電気事業

(単位：百万円)

区 分	供給電力量 (kWh)	販売電力料	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
28年度(A)	732,909,019	6,519	1,259	3	1,262	平成27年度冬期の山間部の積雪量が少なかったことや、平成28年5月から7月までが少雨であったことの影響などにより、供給電力量が減り収益が減となったうえ、委託料が増えたことなどにより費用が増となったため、経常利益、純利益ともに1億5千万円余の減益となりました。
27年度(B)	746,841,903	6,658	1,410	10	1,420	
増減(A)-(B)	△ 13,932,884	△ 139	△ 151	△ 7	△ 158	

② 工業用水道事業

(単位：百万円)

区 分	給水実績 (m ³)	給水収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
28年度(A)	46,353,381	1,665	327	△ 2,005	△ 1,678	給水実績が前年度並みであったことから、給水収益はほぼ前年度並みであったものの、動力費や設備の撤去費の減などにより費用が減少したため、経常利益は前年度に比べ増となりました。 一方、純損益は、東毛工業用水道の第二浄水場計画の廃止に伴う会計処理等により、特別損益がマイナス20億円余となったため、16億78百万円の純損失となりました。
27年度(B)	46,357,828	1,677	183	88	271	
増減(A)-(B)	△ 4,447	△ 12	144	△ 2,093	△ 1,949	

③ 水道事業

(単位：百万円)

区 分	給水実績 (m ³)	給水収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
28年度(A)	82,715,992	6,298	2,215	64	2,279	給水実績が前年度並みであったことから、給水収益はほぼ前年度並みであったものの、減価償却費や設備の撤去費の減などにより費用が減少したため、経常利益は前年度に比べ増となりました。 また、東京電力からの損害賠償金収入の減などにより特別損益が1億33百万円減少したものの、純損益でも2億73百万円の増益となりました。
27年度(B)	82,683,327	6,309	1,809	197	2,006	
増減(A)-(B)	32,665	△ 11	406	△ 133	273	

④ 団地造成事業

(単位：百万円)

区 分	分譲面積 (m ²)	分譲収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
28年度(A)	374,540.47	7,190	1,307	0	1,307	伊勢崎宮郷工業団地、多田山南産業団地などで、合わせて37ヘクタール余を分譲したことにより、前年度に比べ分譲面積が23ヘクタール余増え、分譲収益が大幅に増加したことにより、経常利益、純利益ともに8億円余の増益となりました。
27年度(B)	139,242.01	3,077	462	24	486	
増減(A)-(B)	235,298.46	4,113	845	△ 24	821	

⑤ 駐車場事業

(単位：百万円)

区 分	駐車台数 (台)	駐車 利用料金	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
28年度(A)	258,699	103	△ 4	4	0	駐車台数の増により駐車利用料金が増加しましたが、高崎市との協定に基づき、最終的な収支が均衡するよう負担金での調整を行うこととしているため、損益は収支均衡となっています。
27年度(B)	227,783	81	△ 1	1	0	
増減(A)-(B)	30,916	22	△ 3	3	0	

⑥ 施設管理事業

(単位：百万円)

区 分	ゴルフ場利用人員(人) 賃貸ビル賃貸面積(m ²) 格納庫賃貸面積 (m ²)	ゴルフ場収益 及び 賃貸収益	経常損益	特別損益	純損益	損益の主な増減理由
28年度(A)	255,795 (注) 3,940.87 (注) 2,169.65	852	275	0	275	賃貸ビル事業での入居団体の退去(平成27年12月)の影響などで賃貸収益が減ったことにより、全体の収益は減になったものの、ゴルフ場事業で前年度に計上があった旧クラブハウスの撤去費が減ったことなどによる費用の減少額が、収益の減少額を上回ったため、経常利益、純利益ともに69百万円の増益となりました。
27年度(B)	251,599 (注) 4,510.56 (注) 2,169.65	883	206	0	206	
増減(A)-(B)	4,196 (注) △ 569.69 (注) 0.00	△ 31	69	0	69	

(注)賃貸面積(m²)は、年間平均です。